

# GLOBBER

取扱説明書兼保証書

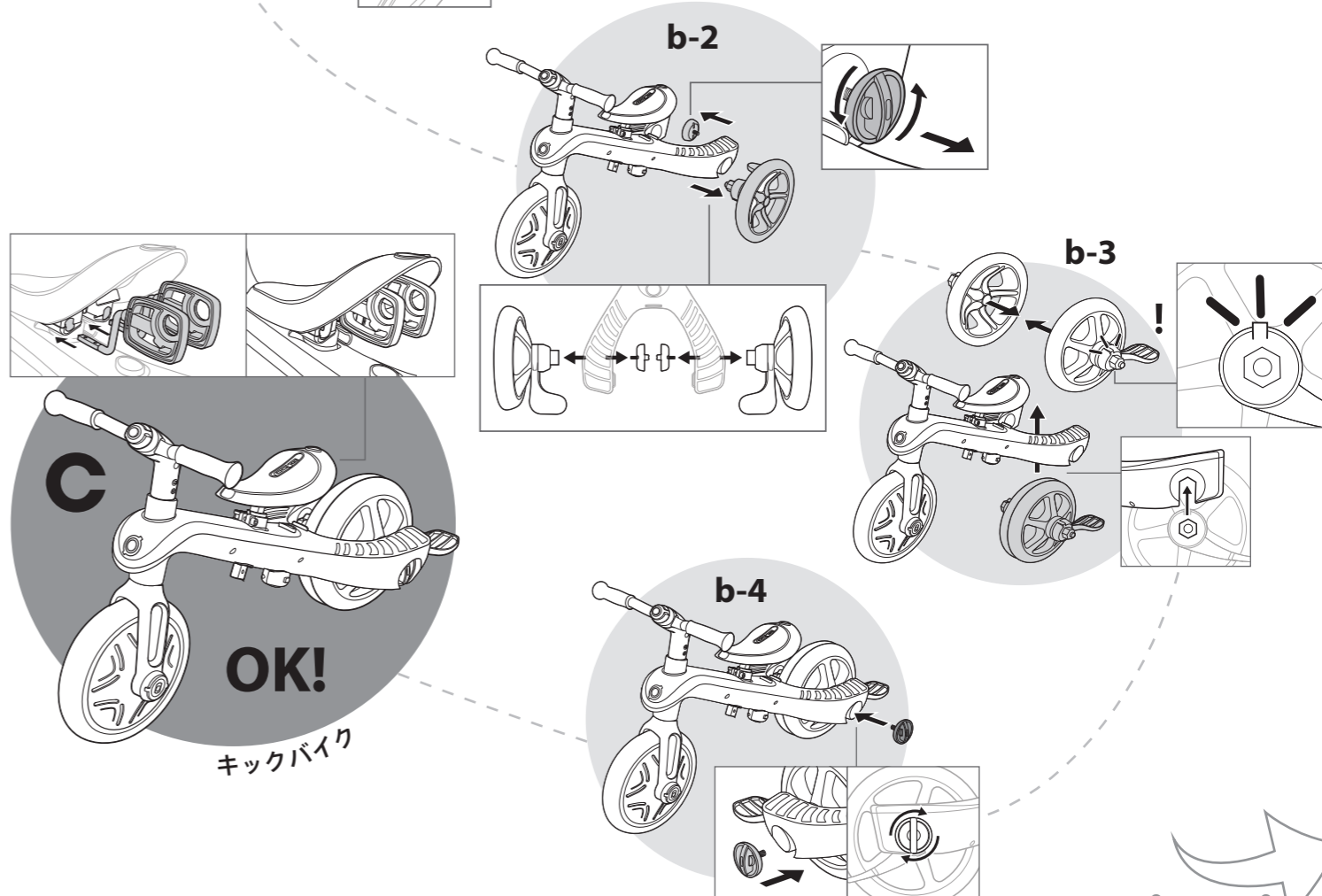
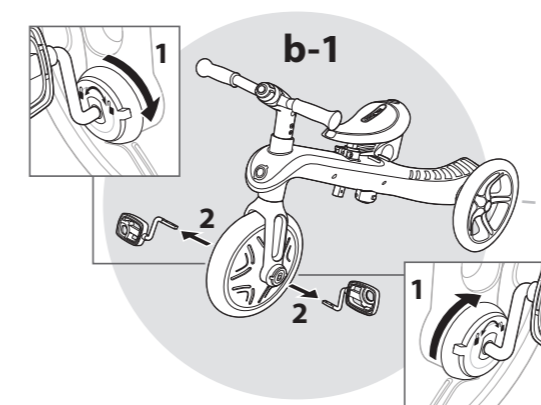
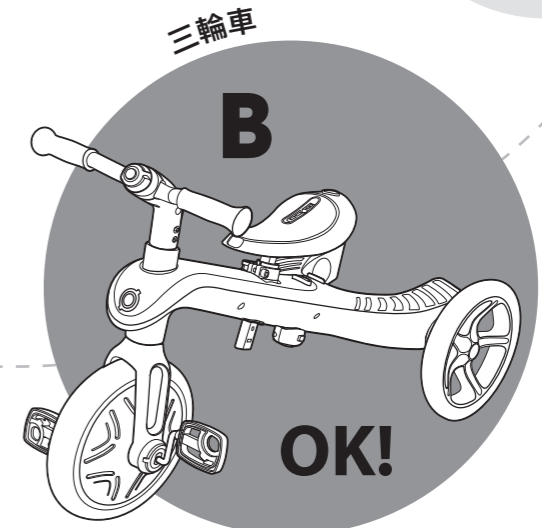
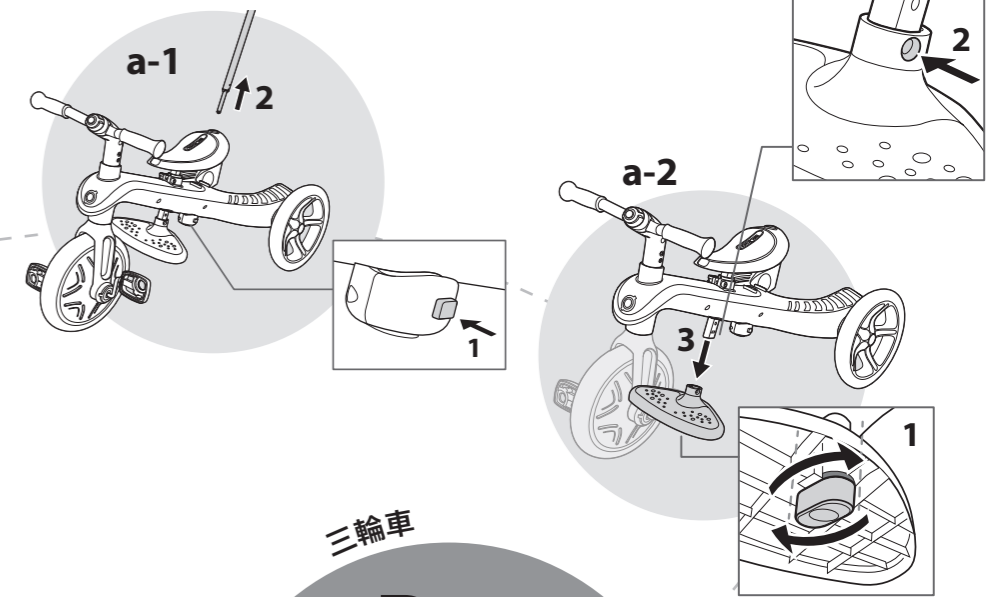
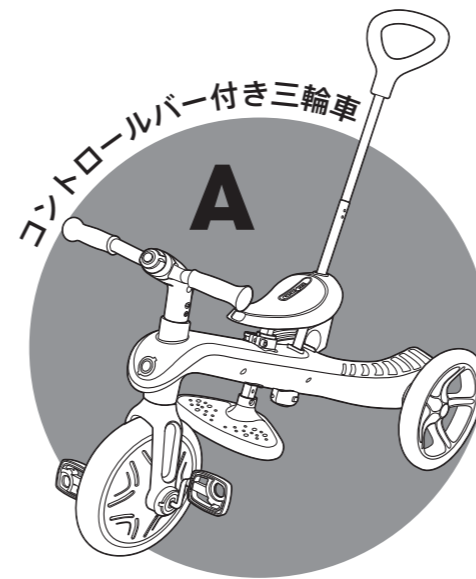
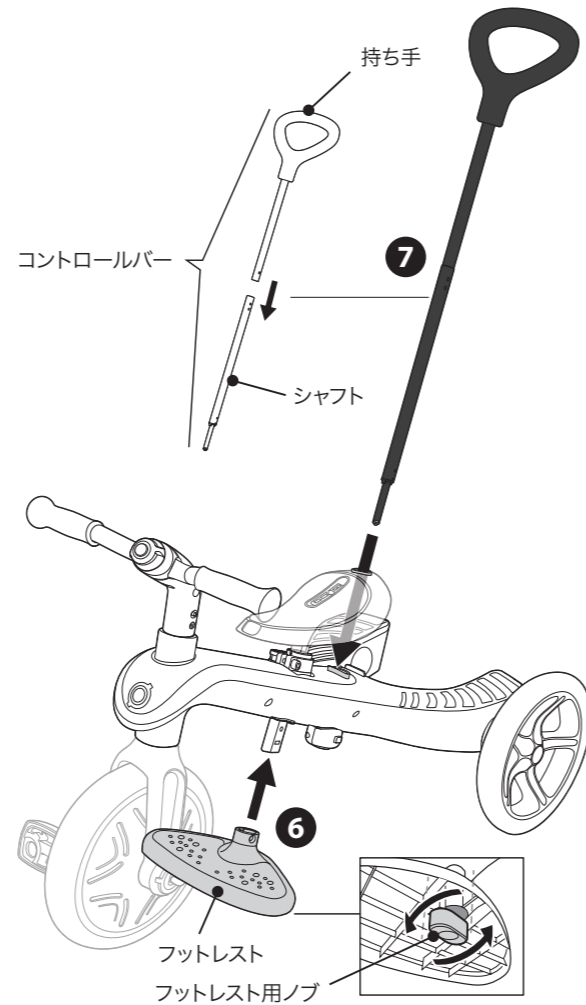
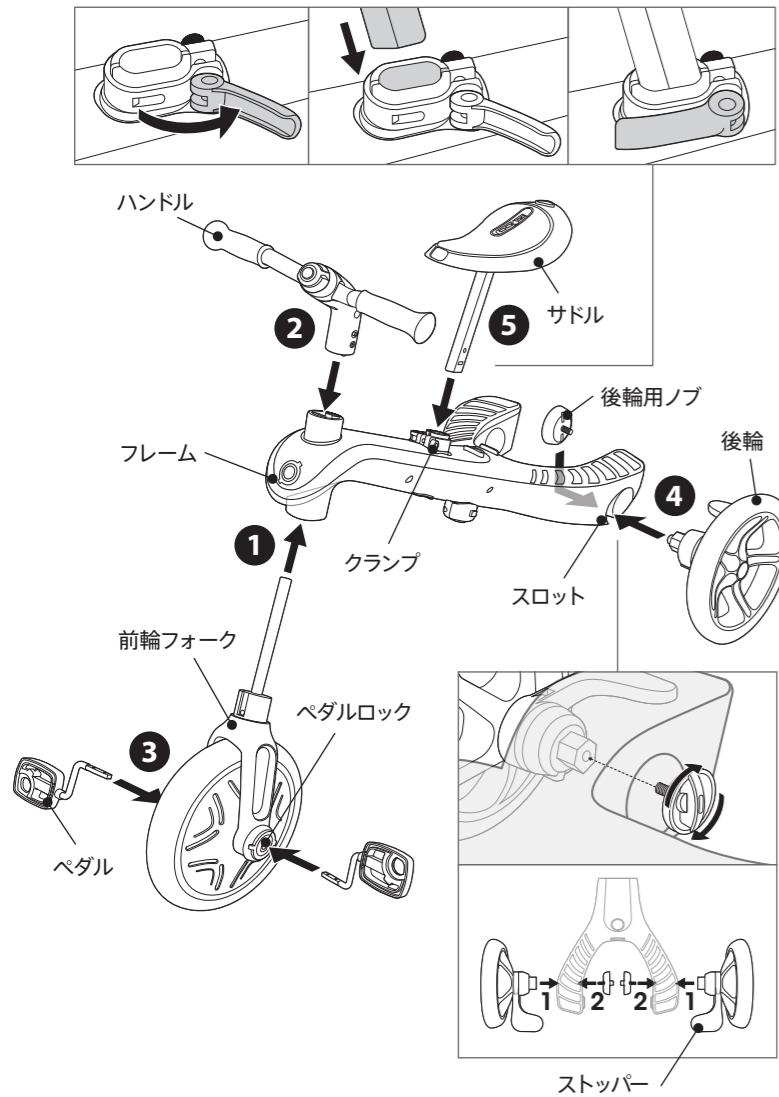
## EXPLORER TRIKE 3in1

エクスプローラートライク3in1



コントロールバー付き三輪車 <b>1歳半-3歳</b>	三輪車 <b>2歳-3歳</b>
キックバイク <b>2歳-5歳</b>	<b>MAX.</b> 体重 <b>20kg</b> まで

組立図



はじめに

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、必要な時にすぐに取り出せる場所に保管してください。

**この取扱説明書の対象となる製品**  
エクスプローラートライク3in1

**安全上のご注意**

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 小さなお子さまにも安全な使用方法を大人の方から丁寧にお伝えいたしてから使用を開始してください。
- 本取扱説明書をお読みになった後は、必要なときにすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- 本製品を第三者に譲渡する場合は、取扱説明書も一緒に譲渡してください。

本取扱説明書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を、危険の大きさの程度に応じて、次のように分類して表示しています。内容をご理解の上、本書をお読みください。

表　示	表示の内容
<span>⚠</span> <b>警告</b>	注意事項を守らないと「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
<span>⚠</span> <b>注意</b>	注意事項を守らないと「軽傷や物的損害が起こるおそれがある内容」です。

**使用条件に関する注意事項**

⚠**警告**

【耐荷重】

●20kg

【年齢】

- 1歳半未満のお子さまにはご使用いただけません。
- 適応年齢は、コントロールバー付き三輪車は1歳半から3歳、三輪車は2歳から3歳、キックバイクは3歳から5歳です。
- 適応年齢は目安です。お子さまの成長に合わせてモードを変えながら、耐荷重を守って使用してください。

**同梱品を確認する**  
すべての部品が揃っていることを確認し、組み立てを開始してください。不足している場合は、お客さま相談室へご連絡ください。

【同梱品】

フレーム、前輪フォーク、後輪タイヤ(左右1セット)、ハンドル、サドル、ペダル(2個)、後輪用ノブ(2個)、シャフト、持ち手、フットレスト、取扱説明書(本書)

**使用前の注意事項**

⚠**警告**

- ビニール袋・製品固定用の留め具などの梱包材は、組み立てが完了したら直ちに捨ててください。お子さまが口に入れたり、被って窒息したり、踏んでケガをしたり、滑って転倒するなどのおそれがあります。
- 組み立ては必ず大人の方が行ってください。組み立ての際は、周囲に人がいないことを確認してください。
- 本製品は一人乗り用です。二人以上を本製品に乗せないでください。お子さまや第三者がケガをするおそれがあります。
- 使用前に、本製品が正しく使用できるかについて、以下の項目を点検してください。使用に伴う各部の損傷などを発見し、思わぬ事故によるお子さまや第三者のケガを未然に防止します。問題個所を発見した場合は、ただちに使用を中止してください。
  - ・全ての部品がそろっていること
  - ・クランプやノブなど結合部分に緩みがないこと、本体にゆがみや破損がないこと
  - ・ストッパーが正常に動作すること

**使用時の注意事項**

⚠**警告**

**使用環境に関する注意事項**

- 道路交通法をはじめとする交通規則に従って正しく使用してください。
- 本製品を公道で使用すると大変危険なため、公道で使用しないでください。交通事故の原因となるおそれがあります。
- 乾燥した平らな地面で使用してください。凹凸や排水溝の格子等の隙間は避けて使用してください。
- 水、油、砂の中での走行は、思わぬ事故や破損の原因となりますのでお止めください。
- 階段の近く、坂道、道路、濡れた路面では本製品を使用しないでください。
- 雨など悪天候時に使用しないでください。スリップする危険性が高くなります。
- 路面の状態などによっては、ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがありますので注意してください。
- 夜間や視界が不十分な際には使用をしないでください。
- お子さまや第三者のケガにつながる転倒や衝突のおそれがあるため、注意してご使用ください。
- 必ず大人の目の届く場所で使用し、常にお子さまから目を離さないでください。また、まわりや地面の状況に注意を払って使用してください。

**使用条件に関する注意事項**

- ヘルメット、手袋、ひざあて、ひじあてなどのプロテクターを常に着用し、必ずズニーカーを履いて使用してください。また、転倒時にケガをしないよう、長袖長ズボンの着用を強くお勧めいたします。
- 衣服などがタイヤ近くに垂れないように注意してください。衣服がタイヤに巻き込まれるなど、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 聴覚や視覚の妨げになる物、または製品の機能を損なう物と一緒に使用しないでください。
- サドルの上にお子さまを立たせないでください。フットレスト、ペダル、フレームの上にお子さまを乗せないでください。
- お子さまの乗せ降ろしの際は、本体が不安定になり転倒するおそれがあります。平らな場所で停車し、ストッパーをかけ、本製品が動かないことを確認し、しっかりと支えてください。
- お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げて移動しないでください。
- モードチェンジはお子さまや他のお子さまの手や指などを挟むおそれがありますので、お子さまや他のお子さまが近くにいないことを確認してから、必ず保護者の方が行ってください。
- 後方転倒に注意してください。コントロールバーにものを吊り下げると、後方に転倒しやすくなります。
- タイヤは磨耗するとスリップする危険性が高くなります。安全確保のため速やかに交換してください。
- フットレストを使用する際は、毎回使用前に確実に固定されているか確認してください。
- 本製品が無理な力や、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 自転車・オートバイ・自動車等で引っ張る、荷物の運搬等、お子さまが乗って遊ぶ本来の目的以外には使用しないでください。
- 本体が破損したり、お子さまや第三者がケガをするおそれがあります。

⚠**注意**

- 適切な操作のため必ず両手でハンドルをにぎってください。
- お子さまが乗降する際は、平坦な場所で、ハンドルを両手でつかみ、進行方向を向いてお乗りください。傾斜地の場合、大人が支えていてもタイヤが動き出したり、倒れるなど、事故の原因となるおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま高さ調節をしないでください。手や指をはさむ、ぶつける、転倒するなどして、お子さまや第三者がケガをするおそれがあります。

**メンテナンス・保管に関する注意事項**

- 本製品の上に重量物を載せないでください。タイヤが曲がるなど変形・破損の原因となり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 本製品に改造等は一切おこなわないでください。製品の強度が低下し、思わぬケガをするおそれがあります。改造等をおこなった製品は保証の対象外となります。
- 部に緩みや外れがないか、特に後輪、ペダル、サドルおよびハンドルを定期的を確認してください。
- 部品の破損や損傷がないか定期的に確認し、もし発生した場合はこの製品の使用を停止してください。
- 摩耗や剥離の症状がないか定期的に確認し、もし発生した場合はこの製品の使用を停止してください。
- お子さまの手の届く場所に本製品を保管しないでください。思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 直射日光や雨風の当たらない場所に本製品を保管してください。部品がサビる等劣化を早め、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 直射日光やストーブの温風などに本製品を長時間さらさないでください。また高温の車内などに長時間保管しないでください。

**各部のお手入れ**

- 汚れが付着した場合、乾いた布や水で濡らし固く絞った布で拭き、完全に乾燥させてください。アルコール成分を含む除菌シートや、体を拭くためのシート等で製品を拭かないでください。塗装が剥がれたり、変色・変形するなど製品が劣化する可能性があります。

**コントロールバー付き三輪車を組み立てる(A)**

- ①前輪フォークの軸をフレーム前方に下から差し込みます。
- ②ハンドルを前輪フォークに、カチッと音が鳴るまで押し込みます。
- ③前輪にペダルを差し込み、ペダルロックを施錠マーク🔒の方向へ回し固定します。
- ④フレームの後部にある六角形のスロットに、ストッパーがフレームと平行になるように後輪を差し込み、後輪用ノブを締めます。
- ⑤クランプを開き、サドル軸のプッシュピンを押しながらカチッと音が鳴るまでサドルを押し下げ、クランプを閉じます。
- ⑥フットレストをサドルの下から差し込み、フットレスト用ノブを90度ひねり固定します。
- ⑦持ち手とシャフトをつなげ、コントロールバーをサドル穴、フレーム穴と順番に通し、カチッと音が鳴るまで差し込みます。

**各部の調節・取り外し方**

**1.ペダルを取り外す**

ペダルロックを解錠マーク🔓の方向へ回し固定し、ペダルを抜き取ります。

**2.サドルの高さ調節**

クランプを開き、黒い突起部分を押しながらサドルを下に押し下げます。

**3.コントロールバーの高さ調節**

プッシュピンを押しながら、コントロールバーを上下させます。

2段階に高さ調節ができます(92cm、96.5cm)。

**4.コントロールバーを取り外す**

フレーム下の赤いボタンを押しながらコントロールバーを持ち上げて取り外します。

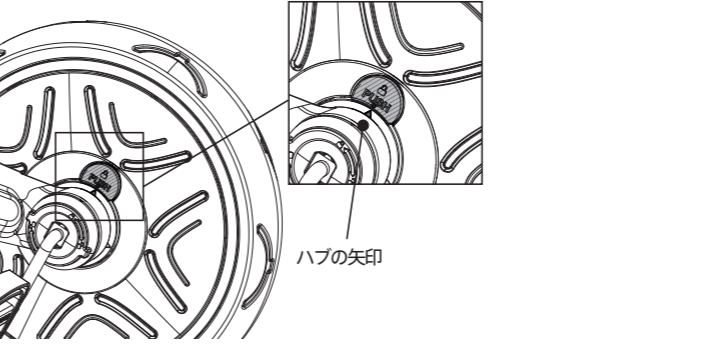
**5.フリーホイールモード**

ペダルが空転するモードです。お子さまの足をペダルに乗せたまま三輪車を押すことができるようになります。前輪の赤いボタンの点を内側のハブの矢印に合わせ、カチッと音が鳴るまで解錠マーク🔓側から赤いボタンを押し込みます。

⚠**警告**

フリーホイールモードは、コントロールバー付き三輪車でのみ使用してください。

三輪車でケガをするおそれがありますので、絶対に使用しないでください。



**コントロールバー付き三輪車から三輪車に変える(A→B)**

- a-1. フレームの下部にある赤いボタンを押し、コントロールバーを取り外します。
- a-2. フットレスト用ノブを90度回し、サドルからフットレストを取り外します。
- a-3. 前輪の赤いボタンを施錠マーク🔒側からカチッと音が鳴るまで押し込み、フリーホイールモードを解除します。

**三輪車からキックバイクに変える(B→C)**

- b-1. ペダルロックを解錠🔓し、前輪からペダルを取り外し、サドル後部に収納します。
- b-2. 後輪用ノブを外します。
- b-3. 後輪をフレームの内側に入れます。このとき車軸にある突起部分をフレームの受けに合うよう、後輪を入れます。
- b-4. 後輪用ノブを締めます。

## 保証書

【無償対応規定】

- 取扱説明書や本体の警告表示などの注意事項に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無償対応させていただきます。
- 保証期間内でも次の場合は有償対応させていただきます。
  - ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障や損傷
  - ②お買い上げ後の輸送、落下などによる故障や損傷
  - ③火災、地震、台風、水害その他の天災地変による故障や損傷
  - ④本製品に取り付けた純正以外のアクセサリーに起因する故障や損傷
  - ⑤本書のご提示がない場合
  - ⑥本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合、又はお買い上げレシートのない場合
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害に関しては当社はその責任を負いません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

**コントロールバー付き三輪車の操作方法**

- お子さまがサドルに座り、フットレストに足を乗せ、ハンドルを両手でにぎり、大人がコントロールバーを押して歩きます。
- コントロールバーをひねると、前輪と連動し、曲がることができます。
- 足の巻き込み防止のため、ペダルはフリーホイールモードにします。
- 停車するときは、本体を停止し、ストッパーを押し下げます。
- 必ず左右両ストッパーを使用してください。

**三輪車の操作方法**

お子さまがサドルに座り、ハンドルを両手でにぎり、ペダルを漕ぎ、前に進みます。ハンドルを左右へ動かすと、前輪と連動し、曲がることができます。

**キックバイクの操作方法**  
お子さまがサドルに座り、ハンドルを両手でにぎり、足で地面を蹴り、前に進みます。ブレーキは足で踏ん張り減速しながら、掛けていきます。

**トラブルシューティング**

- コントロールバーがうまく操作できない
  - コントロールバーがカチッと音が鳴るまで刺さっているか、確認してください。
  - 前輪、フレーム、ハンドルが適切に繋がっているか確認してください。これらの箇所はコントロールバーと連動しています。
- フットレストが外れてしまう
  - フットレスト用ノブを90度回し、脱着防止処置を行っているか、確認してください。
- 走り出すとキュッキュッと異音がる(キックバイク)
  - タイヤ同士が擦れている音です。そのまま安全にご使用いただけます。その他の異音はお客さま相談窓口へお問合せください。
- ペダルが外れてしまう
  - ペダルロックが施錠🔒されているか、確認してください。
- サドルを下の高さにすると固定されない。
  - サドルはプッシュピンなどで固定はされませんが、お子さまが乗車した時の体重で常に押し下げられる設計となっており、安全にご使用いただけます。※サドル高(上：34cm、下31cm)
- キックバイクで、ストッパーが三輪車のときと裏表が逆さになっていますが、間違いないでしょうか。
  - 間違いありません。誤って急ブレーキが掛からないように設計されています。